

2026年5月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済には弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2026年5月26日公表）において、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」との表現が維持された。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に4月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」、「輸出」、「輸入」、「設備投資」、「公共投資」、「住宅建設」に関する判断がそれぞれ維持された。
- ② 企業活動に関して、「生産」「倒産件数」「業況判断」に関する判断が維持された。「企業収益」に関しては、「改善の動きがみられるが、中東情勢を注視する必要がある」との表現に変更されている。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関して、「国内企業物価」については、「このところ上昇している」との表現に変更された。また、「消費者物価」については、「緩やかに上昇している」との表現に変更されている。
- ⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、中東情勢を始め世界経済の不透明感が高まっている」との表現が維持された。国・地域別では、韓国・英国の基調判断が上方修正されている。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（4月）は、前年同月比 1.7%減となり、5か月連続で前年を下回った。業態別では、近鉄百貨店和歌山店の販売額（4月）が前年同月比 0.2%増となっており、2か月連続で前年を上回った。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、4月）は、前年同月比 20.0%増となり、10か月ぶりに前年を上回った。車種別では、軽乗用車が前年同月比 7.9%増、登録車が同 28.4%増となっている。3月末に、環境性能割が廃止されたことで、購入時にかかる税負担の一部が軽減された結果、登録台数・販売台数が増加したものと考えられる。

新設住宅着工戸数（4月）は、前年同月比 13.1%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。住宅種別では、「貸家」が4か月連続で前年を上回っており、「分譲住宅」についても、4月の着工戸数は前年同月比 38.6%増となった。その一方で、「持家」は4か月連続で前年を下回っている。資材価格の高騰や人件費の上昇で住宅建設価格は上昇傾向にあり、そのことが「持家」の着工戸数の減少につながっているものと考えられる。

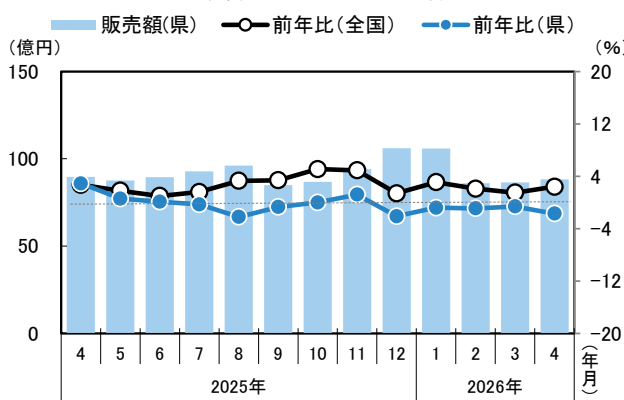
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（3月）は、前月比 3.6ポイントの上昇となり、約5か月ぶりの水準となっている。「はん用機械工業」、「金属製品工業」、「食料品工業」で生産指数が上昇した。その一方で、主力業種である「鉄鋼業」、「生産用機械工業」の生産指数は下降しており、「鉄鋼業」は10か月ぶり、「生産用機械工業」は6年8か月ぶりの低水準となっている。

公共工事請負金額（4月）は、前年同月比10.4%増となり、4か月ぶりに前年を上回った。ただし、2025年度の公共工事請負金額は、前年比4.1%減となっており、5年連続で減少している。

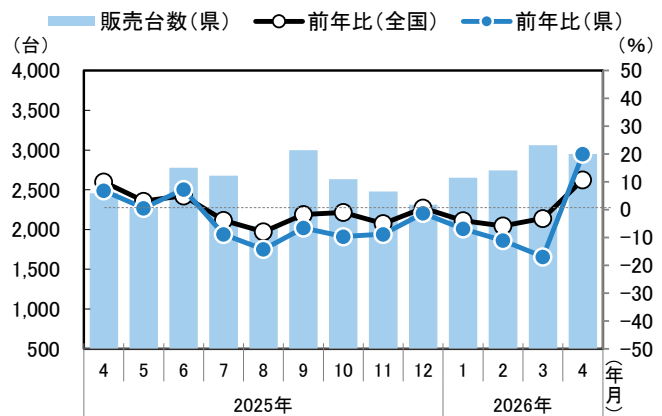
帝国データバンクが発表している**県内 TDB 景気 DI（4月）**は、前月から2.4ポイント下降し、3年9か月ぶりの低水準となっている。特に製造業の景気 DI が3か月連続で下降し、直近10年間における最低値となっている。このような状況を受けて、帝国データバンクは「ホルムズ海峡の事実上の封鎖の影響が徐々に出てきており、石油由来製品の原材料に関する値上げ要請や安定的な調達に懸念が広がり、不透明感が強まっている」としている。

③ **雇用面**については、**有効求人倍率（4月）**は、前月から0.01ポイント下降し、1.00倍となった（下降は5か月ぶり）。依然として約5年ぶりの低い水準にある。有効求職者数が9か月連続で前年を上回る一方で、有効求人数は11か月連続で前年を下回っている。製造業、卸売業、小売業、宿泊業・飲食サービス業などを中心に新規求人数も減少傾向が続いている。このような状況の要因としては、前年11月に、最低賃金が65円引き上げられ、事業者の人件費負担が増加しており、求人控えが起きている可能性が挙げられる。今後の県内雇用情勢については、これまで以上に注視する必要がある。

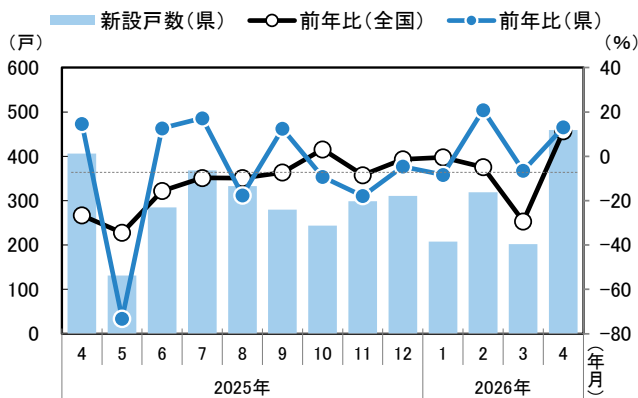
百貨店・スーパー販売額



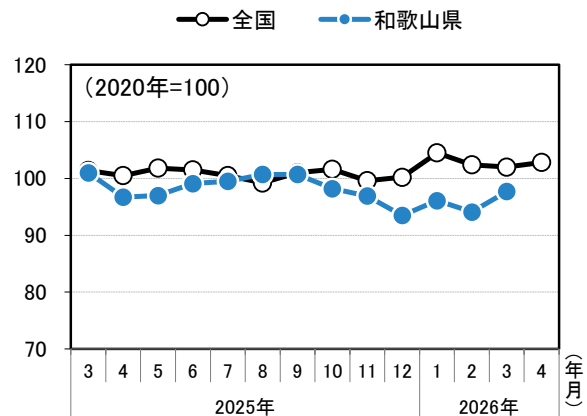
新車(登録車+軽自動車)販売台数



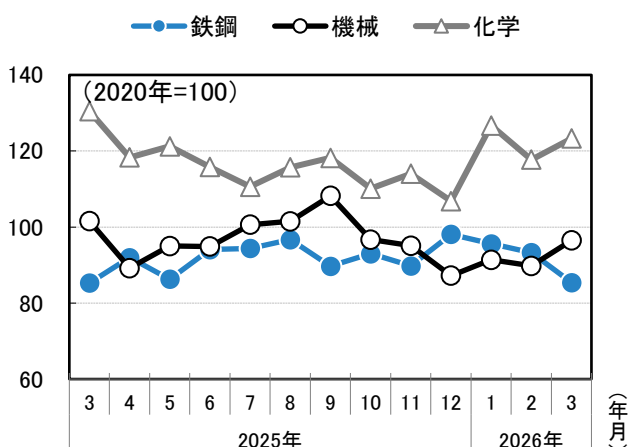
新設住宅着工戸数



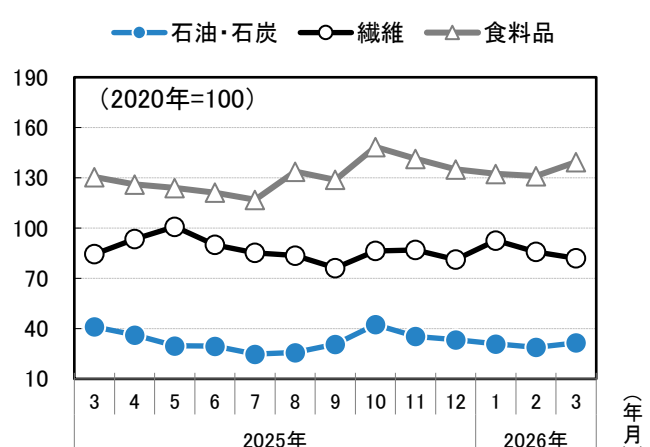
鉱工業生産指数



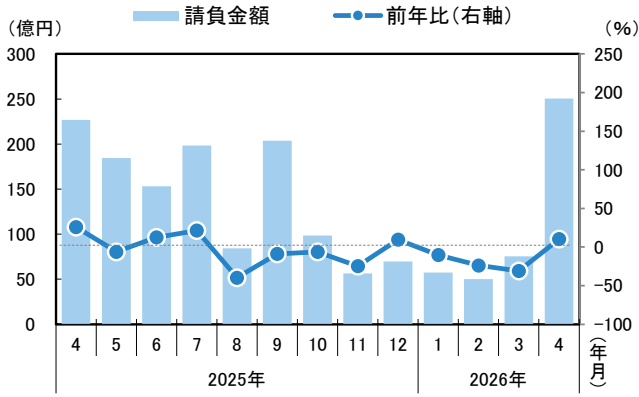
鉱工業生産指数(和歌山県)



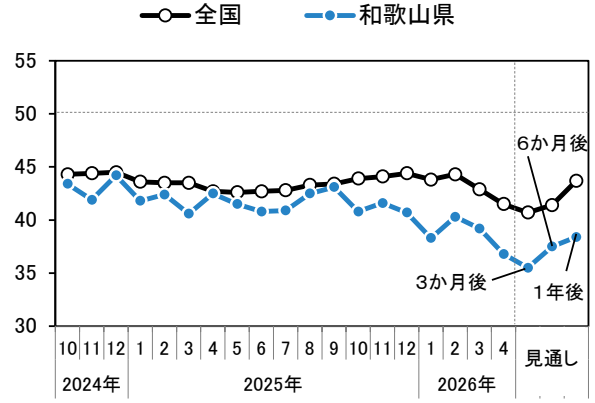
鉱工業生産指数(和歌山県)



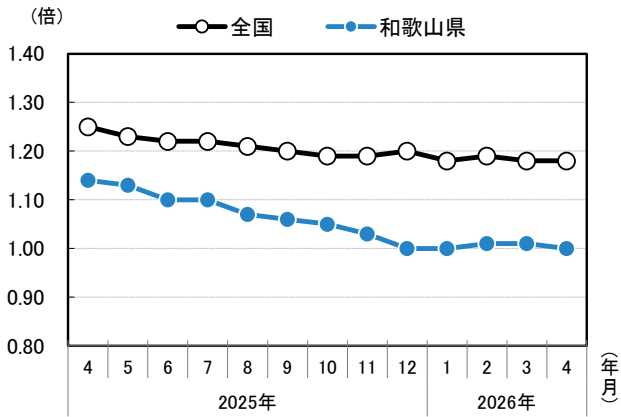
公共工事請負金額(和歌山県)



TDB景気DI(判断の分れ目は50)



有効求人倍率



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年	1,107	3.6	0.1	19,231	-5.6	-6.6	3,800	-3.3	-4.0
2025年3月	87.0	2.6	-0.2	3,687	10.5	12.3	216	39.1	-29.2
4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7
5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6
7月	92.8	1.6	-0.3	2,679	-3.8	-8.9	368	-9.7	17.2
8月	96.1	3.3	-2.2	2,049	-7.9	-14.3	333	-9.8	-17.6
9月	84.9	3.4	-0.7	2,999	-1.7	-6.6	280	-7.3	12.4
10月	86.9	5.1	0.0	2,634	-1.0	-9.6	244	3.2	-9.3
11月	94.0	4.9	1.2	2,478	-5.0	-8.8	299	-8.5	-17.9
12月	106.1	1.4	-2.1	2,312	0.6	-1.3	311	-1.3	-4.6
2026年1月	105.8	3.1	-0.8	2,651	-3.9	-6.9	208	-0.4	-8.4
2月	86.0	2.1	-0.9	2,745	-5.8	-11.1	319	-4.9	20.8
3月	86.5	1.5	-0.6	3,062	-3.1	-17.0	202	-29.3	-6.5
4月	88.2	2.4	-1.7	2,949	10.8	20.0	459	11.4	13.1

(2026年6月1日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2020年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2020年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.5	100.0	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	97.6	93.8	97.0	97.0	87.7	96.3	118.0	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	103.8	100.2	106.6	101.8	122.2	100.0	120.3	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	97.9	93.0	97.9	104.7	102.7	99.8	117.1	1,711.6	8.0	
2024年	101.2	96.5	86.0	95.1	112.2	44.3	92.7	127.0	1,625.7	-5.0	
2025年3月	101.4	101.0	85.3	101.6	130.5	41.1	84.5	130.4	109.4	-33.6	40.6
4月	100.5	96.7	92.0	89.2	118.3	36.2	93.4	126.0	226.9	25.8	42.5
5月	101.8	97.0	86.3	95.0	121.2	29.7	100.8	123.9	184.3	-6.0	41.5
6月	101.5	99.1	94.1	94.9	115.8	29.5	90.0	121.2	153.1	12.6	40.8
7月	100.5	99.5	94.4	100.6	110.6	24.7	85.2	116.9	198.3	21.4	40.9
8月	99.2	100.7	96.7	101.5	115.7	25.7	83.6	133.7	84.4	-39.5	42.5
9月	101.0	100.7	89.7	108.2	118.2	30.6	76.1	128.8	203.7	-8.7	43.1
10月	101.6	98.2	93.0	96.7	110.1	42.4	86.4	148.4	98.4	-6.2	40.8
11月	99.6	96.9	89.8	95.1	114.0	35.3	86.9	141.3	56.3	-24.6	41.6
12月	100.2	93.5	98.1	87.2	106.8	33.3	81.2	135.0	69.9	9.6	40.7
2026年1月	104.5	96.1	95.6	91.4	126.7	30.8	92.6	132.3	57.3	-10.3	38.3
2月	102.4	94.1	93.3	89.8	117.7	28.8	85.8	131.0	50.1	-23.8	40.3
3月	102.0	97.7	85.4	96.5	123.3	31.5	82.0	139.4	75.5	-30.9	39.2
4月	102.8								250.5	10.4	36.8

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2026年6月1日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,874	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,976	14,775	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,339	14,407	14.7	17.2
2024年	1.25	1.13	16,427	14,570	13.9	17.3
2025年3月	1.25	1.13	16,364	14,465	18.4	22.5
4月	1.25	1.14	16,327	14,293	15.0	20.2
5月	1.23	1.13	16,324	14,412	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,106	14,589	15.6	19.5
7月	1.22	1.10	16,037	14,572	12.3	19.2
8月	1.21	1.07	15,802	14,747	12.9	16.4
9月	1.20	1.06	15,683	14,747	12.8	18.0
10月	1.19	1.05	15,461	14,761	14.0	18.7
11月	1.19	1.03	15,357	14,960	10.8	18.3
12月	1.20	1.00	15,201	15,195	12.3	17.3
2026年1月	1.18	1.00	15,509	15,557	11.2	13.9
2月	1.19	1.01	15,372	15,215	12.5	20.2
3月	1.18	1.01	15,113	14,968	17.4	28.2
4月	1.18	1.00	14,912	14,871	14.2	23.2

(2026年6月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。